

市町村名	宮古島市										
令和4年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート											
事業名	宮古島市電子図書館整備事業							事業類型		☐	産業振興
										☐	定住促進
										☒	その他
担当部課名	宮古島市立図書館	現年事業または繰越事業	☒	現年事業	事業実施 (予定)年度	令和4年度					
			☐	繰越事業							
事業内容	読書機会が限定される離島地域において、電子図書館を整備し、市民の読書機会の確保を通じた生涯学習環境の充実等を図る。										
	先導性等に係る取組	☐	自立性	☐	政策間連携	☐	離島活性化を担う人材の確保・育成				
		☐	官民協働	☐	事業推進主体の形成	☐	その他				
		☒	離島地域特有の条件不利性に起因するもの								
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和5年度)										
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()										
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の 状況				令和4年度	年度	年度	年度	年度		
			当初予算額		14,300						
			増減額		0						
			予算現額		14,300						
			前年度から繰越		0						
			翌年度へ繰越		0						
			計(A)		14,300						
	執行済額(B)		14,300								
	うち補助金充当額		11,440								
	不用額		0								
	執行率(%) (B/A)		100.0%								
	予算の状況の説明		○当初の計画どおり事業は適正に執行できた。								
	活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況							
		令和4年度	令和5年度	年度	年度	年度					
電子書籍コン テンツ数		目標	3,000タイトル	4,000タイトル							
		実績	3,036タイトル	4,232タイトル							
		目標									
		実績									
達成 状況 説明		○令和4年度は予算内で3,025冊を購入し、その他にも市独自資料として11冊をPDF化し電子図書館で公開 ○令和5年度以降は市単独予算で事業継続し、目標の電子書籍コンテンツ数を達成することができた									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	令和4年度	後年度目標値 (令和5年度)						
	電子書籍貸出数	目標	—	—	9,656回						
		実績	—	2,926回	15,634回						
	成果目標(指標)		基準値 (年度)								
		目標									
		実績									

	進捗状況説明	○令和4年度はサービス開始の12月16日以降の貸出数である。 ○令和5年度の貸出数15,634回達成率は161.9%となっており成果目標値を達成している。
取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○電子図書館事業の周知のため、図書館内での掲示の他、広報誌やケーブルテレビ・地元新聞・SNS等を利用した広報活動に努めた。 ○学校での集団読書や調べ学習に役立つ『読み放題図書』(同時閲覧数の制限のないもの)を導入。小中学校校長会や学校図書館司書の研修会等での電子図書館の利用説明を実施し、児童生徒一人ひとりに学校利用用のIDを付与したことにより利用数の増加につながった。	○市内小中学校からは、調べ学習に役立つ資料、中高齢者からは、音声資料のコンテンツを増やしてほしいとの要望があった。 ○電子図書館サービス開始から令和5年度末までの利用者ID数(2回以上利用した場合も“1”でカウント)は1,728人、図書館登録者の5.2%であり、まだ市民に十分に認知されているとは言えない。
今後の取り組み方針		
住民の生涯学習環境や児童生徒に対する主体的な学びの環境の充実に貢献するため (1)家庭での読みかきせに利用できる絵本や、学校での集団読書や調べ学習に役立つ『読み放題図書』(同時閲覧数の制限のないもの)の充実 (2)朗読資料や市民のくらしに役立つ資料の充実 (3)学校図書館司書研修会や図書館窓口等での利用説明の継続 (4)広報誌やケーブルテレビ、SNS等を活用した広報活動の継続 (5)電子雑誌サービスの導入(令和6年度より実施)		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	補助対象事業費	補助金充当額
		14,300	14,300	11,440
				市町村負担額
				2,860
				補助対象外経費
				0
宮古島市 14,300千円 → 使用料及び賃借料 14,300千円 → 株式会社図書館流通センター 14,300千円 (契約内容 宮古島市電子図書館整備事業 (電子図書館サービス許諾、電子書籍コンテンツ使用料)				
資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	随意契約により執行しており、紙の書籍と電子書籍を同時検索可能な図書館システム構築のため、当館と当市学校図書館で採用している図書マーク(図書館資料を機械処理するためのデータベース)を提供可能な業者を選定する必要があるため、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っているため、選定方法は妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	県立図書館が実施したアンケートや県内導入自治体を参考とした積算見積もりにより予算編成を行った。執行率も100%であり適正な規模であった。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—	
資金の流 点検 評価	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	目的に即し、必要なものであったと判断している。	